

奄美自動車検査登録事務所
庁舎渡廊下支柱塗装改修工事

[illegible]

付近見取り図

6
内装
改修
工事
（
続
き
）

28.移動間仕切

(20.2.4)

構造形式	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材		遮音性
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・フック式 ・バンド式 ・	60程度 ・100程度	・鋼板 ・	パネル表面仕上げ ・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上
	パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・図示					
	移動間仕切の壁面当たり枠 適用する（製造所の仕様による） ランナー パネル重量の5倍の荷重をパネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障がないものとする					

(20.2.5)

表面材の種類		色柄	脚部		ドアエッジ、形状	
			形状	形状	材質	
メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板		・無地 ・柄物	・幅木タイプ ・	・標準 ・R	アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	

吊り方式 中心吊、戸当たり付 ・・・（ ）
パネル材料のホルムアルデヒド放散量 規制対象外

(11.2.2)(19.2.2)

施工箇所		種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
屋内		・塩化ビニル製	300×300	・7.0
		・セラミックタイル	300×300	17程度
		・レジンコンクリート製	300×300	・30
屋外		・セラミックタイル	300×300	17程度
		・レジンコンクリート製	300×300	・30
		・	・	・

視覚障害者用ブロック等の突起の形状及びその配列は JIS T 9251 による
・樹脂系点字紙（タイルカーペット用）
寸法 300角 500角
色 黄色
樹脂系点字紙の留付は、両面からの挟込みホック式または接着式

29.トイレブース

(20.2.5)

30.視覚障害者用
床タイル

(11.2.2)(19.2.2)

施工箇所		種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
屋内		・塩化ビニル製	300×300	・7.0
		・セラミックタイル	300×300	17程度
		・レジンコンクリート製	300×300	・30
屋外		・セラミックタイル	300×300	17程度
		・レジンコンクリート製	300×300	・30
		・	・	・

視覚障害者用ブロック等の突起の形状及びその配列は JIS T 9251 による
・樹脂系点字紙（タイルカーペット用）
寸法 300角 500角
色 黄色
樹脂系点字紙の留付は、両面からの挟込みホック式または接着式

31.階段滑り止め

(20.2.6)

材質
・ステンレス製
・アルミニウム製押出型材
滑り止め材/形状（ ・ひも型 ・タイヤ型 ）
材質（ ・ゴム又は合成樹脂 ）
取付け工法 接着工法 ・埋め込み工法
幅(mm) ・ 端部フラットエンド（ ・あり ・なし ）

(20.2.7)

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
ステンレス製 □型(幅40程度 ①1.5) 標準詳細図 4-31-1
・ステンレス製 6×12 標準詳細図 4-31-2
・黄銅製 6×12 標準詳細図 4-31-2

32.床目地棒

(20.2.7)

33.手すり

・集成材手すり

形式	径	材 種	仕 上
・1段	・35φ 45φ	タモ	CL
	2段	35φ	・

・既製手すり（樹脂製）

形式	径	ブラケット	備 考
・O型（1段）	40φ	アルミ合金製	指づめ防止材共
O型（2段）	34φ	（心材共）	

点字表示板（ ）箇所
JIS T 0921に基づく点字の表示原則及び点字表示方法による
ポリカーボネード製 大きさ 120×150程度 厚み 0.1程度
・塩ビ製 大きさ 100×125程度 厚み 0.1程度

6
内装
改修
工事
（
続
き
）

34.ブラインド

(20.2.12)

・再使用する
形 式 操作方法 種 類

・新設する
スラットの材種 スラット幅 (mm) ボックス・レールの材種 幅・高さ 取付箇所

・模型	・手動	ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	アルミニウム合金製 G	25	鋼製	・図示
	・電動	-				
	・縦型	・手動	2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	75×16 合金製
	・電動	-	-			

スラットの材質
・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
・クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 使用する場合は □にする

(20.2.14)

・再使用する
形式

・新設する
開閉操作

ひだの種類

商品名 (程度)

取付箇所

備考

・シングル	・片引き	・手引き	・フランスひだ		・図示 ・
	・ダブル	・引分け	・ひも引き ・電動 ・ブレーンひだ、片ひだ		
・シングル	・片引き	・手引き	・フランスひだ		・図示 ・
	・ダブル	・引分け	・ひも引き ・電動 ・ブレーンひだ、片ひだ		

35.カーテン

(20.2.14)

36.カーテンレール

(20.2.14)

・再使用する
・新設する
材質 アルミニウム製及びアルミニウム合金の押出し成型材製
・ステンレス製

形式	・シングル	・ダブル
・片引き	・片引き	・引分け
強さによる区分	10・90	・
仕上げ	アルマイト	・
形状	角形	・

37.ブラインドボックス
及びカーテンボックス

(20.2.14)

・再使用する
・新設する
溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材（仕上げ： ）
アルミニウム製 押出し型材（市販品）
表面処理・C-1
・C-2
・
皮膜等の種類 標準仕様書表14.2.1による
・鋼製（仕上げ： ）

38.コーナービード
（壁ボード 出隅保護金物）

(20.2.14)

材質 アルミニウム押出型材差込型 ・・・（ ）
着色 シルバー 焼付 ・・・（ ）
施工箇所 図示

39.天井見切縁

(20.2.14)

材質 アルミニウム押出型材
施工箇所 仕上表による ・・・（ ）

40.天井点検口

(20.2.14)

材種	寸法	形式	外枠	内枠
アルミ	450×450	・一般形	・屋内外用	額縁タイプ
ニウム製	600×600	・	・屋内用	・目地タイプ
・	・	・気密形		

（品質・性能・試験方法）
建築材料等品質性能表による

6
内装
改修
工事
（
続
き
）

41.床点検口

(20.2.12)

材 種

寸 法

形 式

備 考

(底板) 鋼製 ・ (枠) アルミニウム製 ・ (目地) ステンレス製 ・	・450×450 600×600	一般型 ・密閉型	・屋内外用 屋内用	・鍵付き 鍵なし
（品質・性能・試験方法） 建築材料等品質性能表による				

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
規制対象外 ・
仕上塗材の種類

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状等
・薄付け仕上	・内装薄塗材E	・	・砂壁状じゅらく
・塗材	・内装薄塗材W	-	・京壁状じゅらく
・軽量骨材仕上	・吹付用軽量塗材	・	・砂壁状
・塗材	・こて塗用軽量塗材	・	・平たん状

42.仕上塗材仕上げ

(15.5.2)

7
塗装
改修
工事
（
続
き
）

4.塗装

柱、梁：
水性形一液外壁用
遮熱シリコン系上塗り材
（アスファルト
シリコンREV01000-1R
同等品以上）
庇 上端、下端
：2液シリコン塗装

(7.4～7.15)

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
・合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP) 塗料の種類 1種 ・2種	木部屋外	B種	・A種
	木部屋内	B種	・B種
	鉄鋼面	B種	・B種 ・A種
	亜鉛めっき鋼面 （鋼製建具）	A種	・B種
	亜鉛めっき鋼面 （鋼製建具以外）	B種	・B種
・クリヤラッカー塗り (CL)		B種	・A種
・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)		-	-
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		B種	・A種
・耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	・	A種
	上塗り等級（ 3 ）級		
	亜鉛めっき鋼面	・	A種
	上塗り等級（ ）級		
	コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
・つや有合成樹脂 エマルション ペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	B種	・A種 ・B種
	屋内の木部	B種	・A種
	屋内の鉄鋼面	B種	・A種 ・B種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	B種	・A種
・合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)		B種	・A種 ・B種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T)		B種	・A種 ・B種
・ウレタン樹脂ウニス塗り (UC)		B種	・A種
・オイルステイン塗り (OS)		-	-
塗料（ ・油性 ・水性 ）			
・木材保護塗料塗り (WP)		B種	・A種
		B種	・A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（コンクリート面、鉄鋼面、ガラス面、
せっこうボード面、その他ボード面）の塗替えの場合のしき止め
改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする
・
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしき止め
改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする
・
・高日射反射率塗料塗り G
下地調整（改修標準仕様書表7.2.2） ・R A種 ・R B種 ・R C種

工程	塗料その他			塗付 quantity	
	規格番号	規格名称	種類	等級	
塗料塗り	JIS K 5675	高日射反射 率塗料	2種	・1級	塗料製造所の仕様 による
				・2級 ・3級	

打放しコンクリート面保護工法
（下塗材） 水性 浸透性吸水防止材
（上塗材） ・水性フッ素樹脂クリアー
・水性フッ素樹脂カラークリアー

5.フッ素樹脂塗装

7
塗装
改修
工事
（
続
き
）

1.材料

(7.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
規制対象外 ・
防火材料 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）

2.下地調整

(7.2.1～7)

塗替え R B 種の場合の既存塗膜の除去範囲
塗替え面積の30％ ・図示
既存さび止め塗料の鉛含有調査
・行う（ ）箇所） ・行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部 の補修
	塗替え	新規	
木部	R B 種		・
鉄鋼面	R B 種		
亜鉛めっき面	R B 種		
亜鉛めっき面（鋼製建具等）	R B 種	標準仕様書 (18.2.1)	
モルタル、プaster面	R B 種	素地ごしらえ による	・行う ・行わない
コンクリート面(DP以外)、 ALC/パネル面	R B 種		・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・R A 種 R B 種 ・R C 種		・行う ・行わない
コンクリート面(DP)	R B 種 ・R C 種		・行う ・行わない
せっこうボード面及び その他ボード面	R B 種		・

3.錆止め塗料塗り

(7.3.2, 3)

錆止め塗料塗りの種類

塗装面		塗料の種類	工程の種類
鉄鋼面	EP-G以外	塗替え	A種
		新規見え掛け	A種
		新規見え隠れ	A種
	EP-G	塗替え	B種 ・A種
		新規見え掛け	B種 ・A種
		新規見え隠れ	B種 ・A種
亜鉛めっき面	EP-G以外	塗替え	A種 ・B種
		新規鋼製建具等	A種 ・B種
		EP-G	塗替え
		新規鋼製建具等	C種

株式会社田設計一級建築士事務所
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-60875号
〒814-0104 福岡市城南区別府1-8-4
TEL 092-836-9907 FAX 092-836-9908
一級建築士 第165041号 石川肇

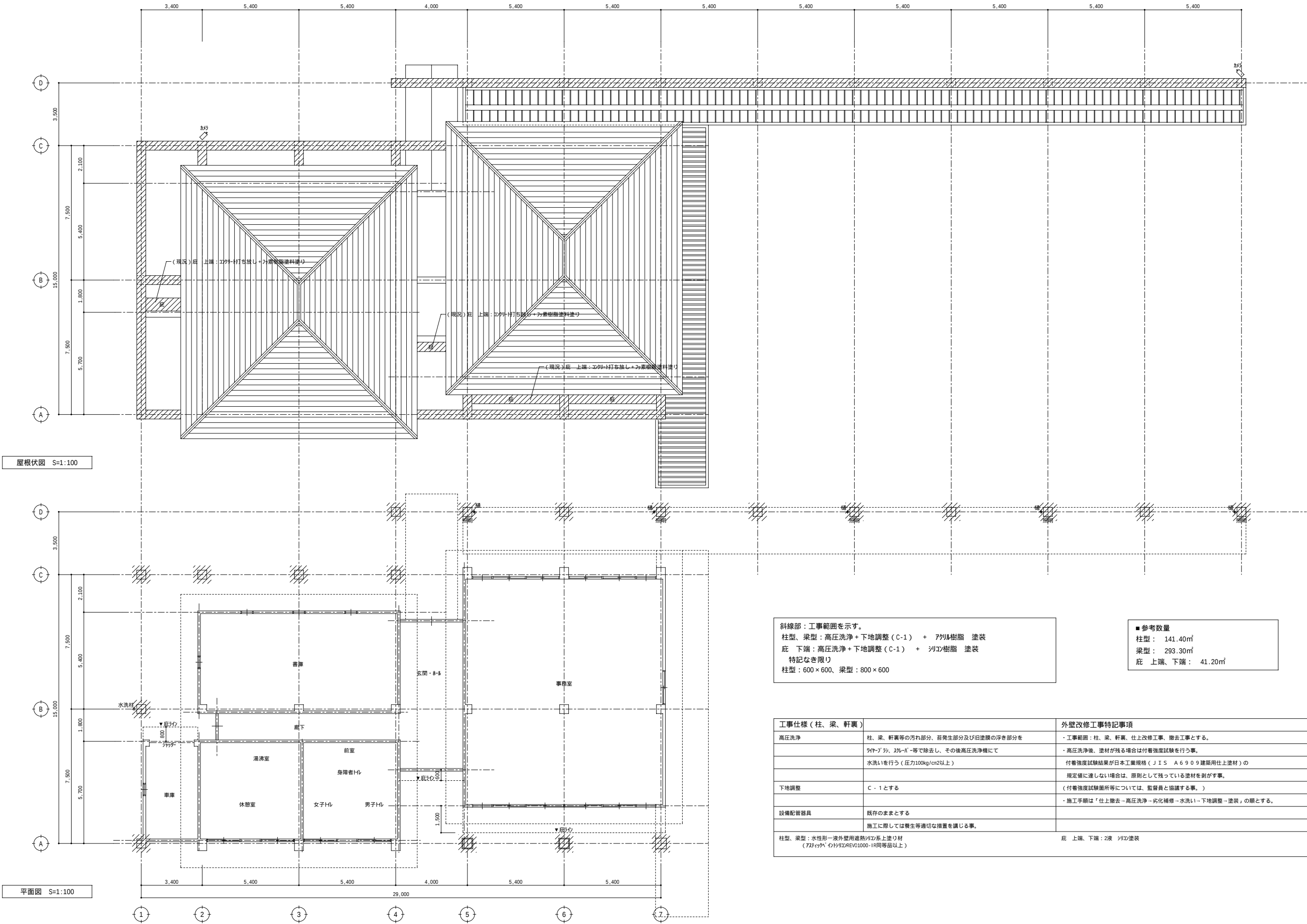
設計名称
電美自動車検査登録事務所 庁舎廊下支柱塗装改修工事

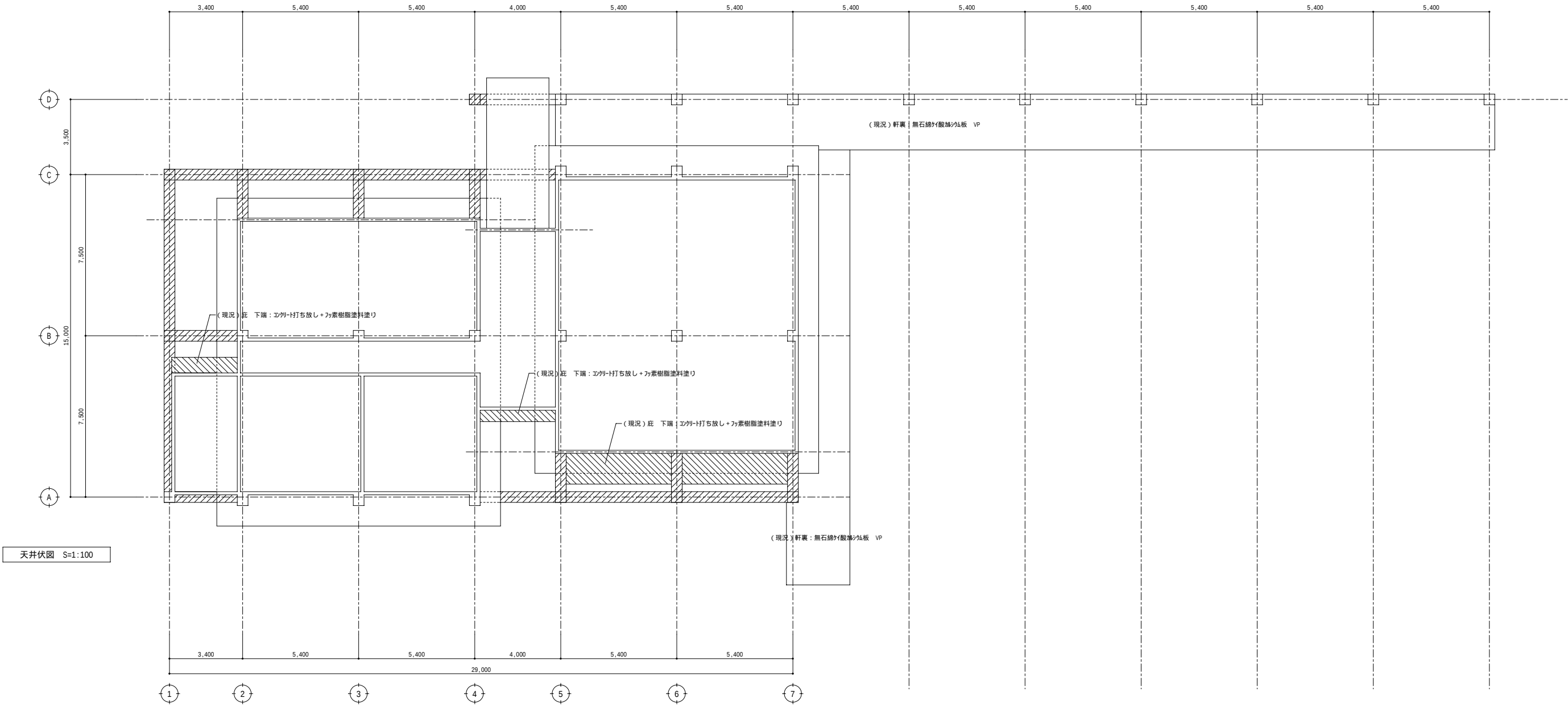
図面番号
改修 特記仕様書 - 3

縮尺
- (A1)
- (A3)

図面番号
A-03
日付

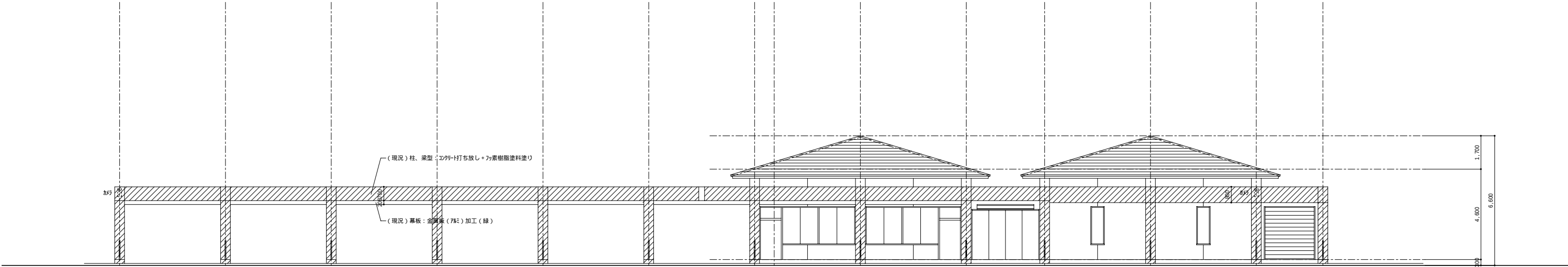






斜線部：工事範囲を示す。
柱型、梁型：高圧洗浄＋下地調整（C-1） ＋ アクリル樹脂 塗装
庇 下端：高圧洗浄＋下地調整（C-1） ＋ エポキシ樹脂 塗装
特記なき限り
柱型：600×600、梁型：800×600

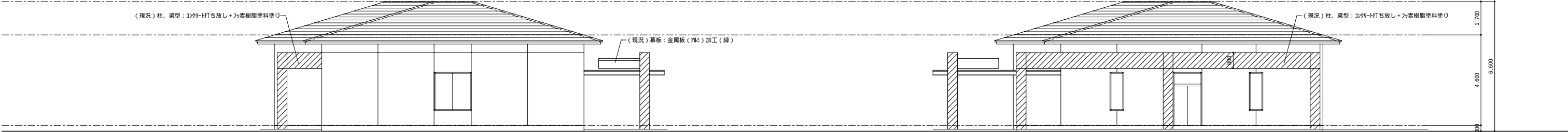
■参考数量
柱型： 141.40㎡
梁型： 293.30㎡
庇 上端、下端： 41.20㎡



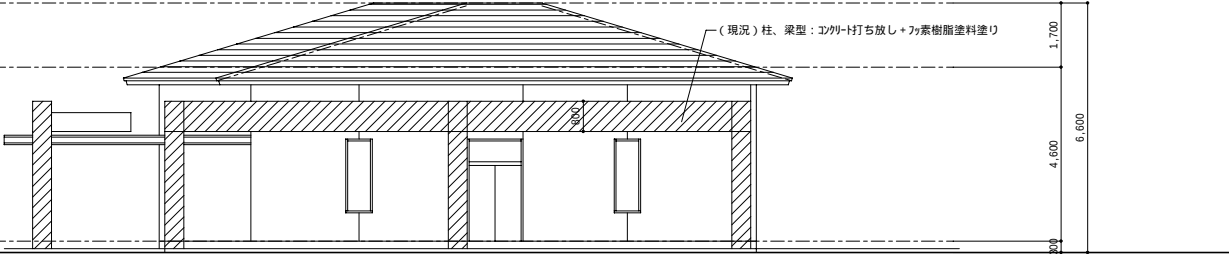
北側 立面図 S=1:100

斜線部：工事範囲を示す。
柱型、梁型：高圧洗浄＋下地調整 (C-1) + ﾏｸﾘﾙ樹脂 塗装
特記なき限り
柱型：600×600、梁型：800×600

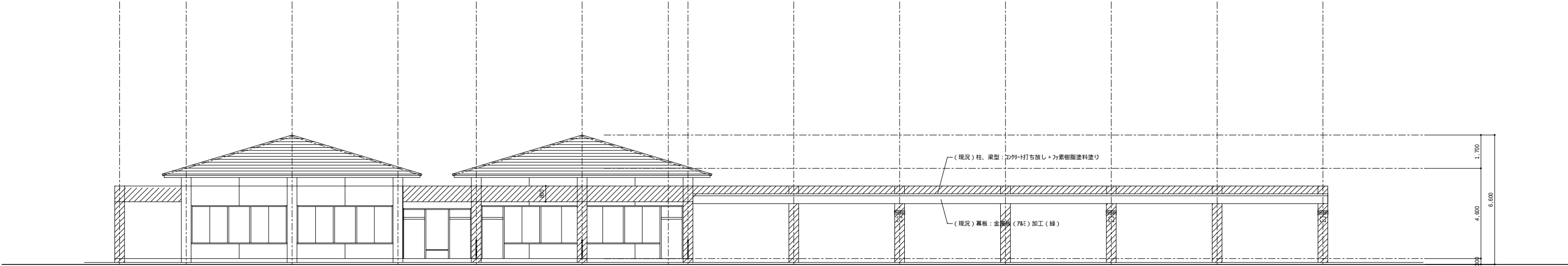
■参考数量
柱型： 141.40㎡
梁型： 293.30㎡
底 上端、下端： 41.20㎡



東側 立面図 S=1:100



西側 立面図 S=1:100



南側 立面図 S=1:100